

立教大学 社会情報教育研究センター
2010年度 活動報告

目次

1. 事業活動日誌
2. 公開講演会、セミナー等
 - 1) 公開講演会
 - 2) シンポジウム
 - 3) セミナー
 - 4) 共催セミナー
3. 受託事業
4. 資格支援事業
5. 教育支援事業
6. 研究支援
7. 出版物等
8. 人事
9. 組織図
10. メンバー一覧および各種委員会

1. 事業活動日誌

	月	日	活動内容
2010	4	7	第3回 センター連絡会議
		8	第1回 センター運営会議
			第1回 政府統計部会 会議
		15	第2回 政府統計部会 会議
		16	第1回 図書館閲覧業務従事スタッフ就労満足度調査 打ち合わせ
		22	第3回 政府統計部会 会議
	5	6	第4回 政府統計部会 会議
		13	第2回 センター運営会議
			第1回 社会調査部会 会議
			第5回 政府統計部会 会議
		15	第1回 共同政策研究会
		18	第4回 センター連絡会議
		19	第2回 社会調査部会 会議
		20	第6回 政府統計部会 会議
		21	CSI 統計分析セミナー(統計分析ソフト SPSS 初歩の初歩)
	6	1	社会調査士(見込み)資格申請の前期・科目証明書申請(～21日) 公的統計の2次利用制度について一橋大学マイクロデータセンターと打ち合わせ
		3	第7回 政府統計部会 会議
			社会調査士(見込み)資格申請の前期申請受付(～23日)

		10	第8回 政府統計部会 会議
		14	調査研究コンサルティング 対応
		16	オンデマンド授業 『社会調査入門』・『データ分析入門』・『社会調査の技法』・『データの科学』コンテンツ公開
		17	第3回 センター運営会議
			第9回 政府統計部会 会議
		18	CSI 統計分析セミナー(統計分析ソフト SPSS 初歩の初歩)
		22	第5回 センター連絡会議
		24	第10回 政府統計部会 会議
		28	金沢大学人間社会研究域 人間科学系 轟亮准教授 来訪
	7	1	第11回 政府統計部会 会議
		8	第4回 センター運営会議
			第1回 社会情報教育研究センター委員会
			第12回 政府統計部会 会議
		9	CSI 統計分析セミナー(統計分析ソフト SPSS 初歩の初歩)
		11	第2回 共同政策研究会
		15	第6回 センター連絡会議
			第13回 政府統計部会 会議
		22	第14回 政府統計部会 会議
		28	第3回 社会調査部会 会議
		29	第1回統計教育フォーラム
	8	9	高校生向け統計教育セミナー
		10	第3回 共同政策研究会
	9	3	第4回 共同政策研究会
		4	匿名2次利用データ研究会
			第1回 S1科目講習会－専門社会調査士取得希望者のための講習会－(～7日)
		13	ICPSR 国内利用協議会 統計セミナー2010(～16日)
		21	社会調査士(見込み)資格申請の後期・科目証明書申請(～10月12日)
		23	第5回 共同政策研究会
		24	社会調査士(見込み)資格申請の後期申請受付(～10月14日)
		30	第5回 センター運営会議
			第4回 社会調査部会 会議
			第15回 政府統計部会 会議
	10	1	立教大学社会調査データアーカイブ(RUDA)学内公開
		7	第7回 センター連絡会議
		13	調査研究コンサルティング 対応
		14	第16回 政府統計部会 会議
			日中統計シンポジウム参加(中国四川省成都、山口・小野寺・金澤・田中、～19日)

		16	第 6 回 共同政策研究会
		20	統計分析ソフト SPSS による統計分析セミナー (SPSS 初歩の初歩・池袋)
		21	第 17 回 政府統計部会 会議
			調査研究コンサルティング 対応
		22	統計分析ソフト SPSS による統計分析セミナー (SPSS 初歩の初歩・新座)
		27	調査研究コンサルティング 対応
		28	調査研究コンサルティング 対応
			CSI 統計活用セミナー (将来人口を推計する (POCO の利用)・池袋)
	11	4	第 18 回 政府統計部会 会議
		5	調査研究コンサルティング 対応
		7	調査研究コンサルティング 対応
		8	統計分析ソフト SPSS による統計分析セミナー (回帰分析入門・池袋)
		11	第 6 回 センター運営会議
			第 19 回 政府統計部会 会議
			CSI 統計活用セミナー (将来人口を推計する (POCO の利用)・新座)
		12	統計分析ソフト SPSS による統計分析セミナー (回帰分析入門・新座)
		16	RUDA データ委託意向のアンケート実施 (社会調査部会)
			政府統計部会 POCO・RECO 改修内容打ち合わせ (三菱総合研究所)
		18	第 8 回 センター連絡会議
			第 20 回 政府統計部会 会議
			CSI 統計活用セミナー (統計地図を作成する (G-Census の利用)・池袋)
		22	統計分析ソフト SPSS による統計分析セミナー (主成分分析・因子分析入門・池袋)
		24	調査研究コンサルティング 対応
		25	第 21 回 政府統計部会 会議
			第 5 回 社会調査部会 会議
			CSI 統計活用セミナー (将来人口を推計する Part2 (POCO の利用)・池袋)
		26	統計分析ソフト SPSS による統計分析セミナー (主成分分析・因子分析入門・新座)
	12	2	第 7 回 センター運営会議
			第 6 回 社会調査部会 会議
			CSI 統計活用セミナー (将来人口を推計する Part2 (POCO の利用)・新座)
		3	統計分析ソフト SPSS による統計分析セミナー (回帰分析入門・新座)
		6	調査研究コンサルティング 対応
		7	統計分析ソフト SPSS による統計分析セミナー (回帰分析入門・池袋)
		9	第 9 回 センター連絡会議
			第 7 回 社会調査部会 会議
			CSI 統計活用セミナー (すたまる・すたなびの利用・新座)
		10	政府統計部会 公的二次利用学習コンテンツの打ち合わせ (財団法人統計情報研究開発センター (シンフォニカ)と)

		16	第8回 社会調査部会 会議
			CSI 統計活用セミナー(すたまる・すたなびの利用・池袋)
		17	統計分析ソフト SPSS による統計分析セミナー(主成分分析・因子分析入門・新座)
		20	調査研究コンサルティング 対応
			調査研究コンサルティング 対応
		21	統計分析ソフト SPSS による統計分析セミナー(主成分分析・因子分析入門・池袋)
		23	第9回 社会調査部会 会議
		24	第7回 共同政策研究会
	28	第8回 共同政策研究会	
2011	1	13	第10回 社会調査部会 会議
			第22回 政府統計部会 会議
		20	第8回 センター運営会議
			第11回 社会調査部会 会議
			神戸大学・兵庫県庁視察(政府統計部会・～21日)
			社会調査協会へ2010年度科目申請提出
		27	第10回 センター連絡会議
			第12回 社会調査部会 会議
	2	1	兵庫教育大学(JEDI)視察(社会調査部会・～2日)
		3	第13回 社会調査部会 会議
		4	第23回 政府統計部会 会議
			二次利用および教育用データ作成に関する研究会
		8	第9回 共同政策研究会
		10	第14回 社会調査部会 会議
		14	第10回 共同政策研究会
		17	第9回 センター運営会議
			第15回 社会調査部会 会議
			第11回 共同政策研究会
		22	第12回 共同政策研究会
		24	第16回 社会調査部会 会議
		28	社会調査士資格申請の科目証明書申請受付(～3/22・東日本大震災の影響で日程延長)
			第13回 共同政策研究会
	3	2	第14回 共同政策研究会
		3	第17回 社会調査部会 会議
			CSIパンフレット・リーフレット作成・納入
			第15回 共同政策研究会
		4・5	第7回 統計教育の方法論ワークショップにてCSIのブース展示
6		第5回 日本統計学会春季大会にてCSIのブース展示	
8		公開講演会	

	10	第16回 共同政策研究会
	11	ICPSR 国内利用協議会総会出席(於:東京大学 岩間・廣瀬)
	24	社会調査士資格申請受付(~3/31)

2. 公開講演会、セミナー等

1) 公開講演会

テーマ 「統計教育の新展開～統計的思考力養成とその評価～」

開催日 2011年3月8日(火)

場所 立教大学池袋キャンパス 太刀川記念館 3階 多目的ホール

参加人数 32名

講演者・タイトル

Developing Students' Statistical Reasoning through Active Learning

Joan B. Garfield (ミネソタ大学 教育心理学科教授)

Assessing Important Learning Outcomes for a First Statistics Course

Robert C. delMas (ミネソタ大学 教育心理学科准教授)

2) シンポジウム

統計教育フォーラム

テーマ 社会情報教育研究センターの設立を受けて、立教大学本学の教職員に本センターの紹介を行う

開催日 2010年7月29日(木)

場 所 立教大学池袋キャンパス 8号館5F 8501教室

参加人数 18名

講演者・タイトル

センター長あいさつ 間々田 孝夫(社会学部教授)

社会調査部会の事業説明 廣瀬 毅士(CSI助教)

政府統計部会の事業説明 小野寺 剛(CSI助教)

統計教育部会の事業説明 金澤 悠介(CSI助教)

質疑応答

3) セミナー

CSI 統計分析セミナー

●統計分析ソフト SPSS 初歩の初歩

講義内容

- ・SPSS でデータを扱うためには？(データの入力と加工)
- ・SPSS でデータを集計してみよう(度数分布表、代表値・分散、クロス集計)
- ・SPSS でグラフを作成してみよう(ヒストグラム、散布図、3D グラフ)

開催日 第1回 5月21日・第2回 6月18日・第3回 7月9日(3回とも同一内容)

場 所 立教大学池袋キャンパス 8号館 8402教室

講 師 金澤 悠介(CSI 助教)

参加人数 第1回 12名・第2回 21名・第3回 11名

●統計分析ソフト SPSS による統計分析(池袋キャンパス開催)

Aコース

講義内容 SPSS 初歩の初歩(SPSS の簡単な使用方法、単純集計)

開催日 10月20日(水)

場 所 立教大学池袋キャンパス 8号館 8301 教室

講 師 金澤 悠介(CSI 助教)

参加人数 9名

Bコース

講義内容 回帰分析入門(単回帰分析、重回帰分析、回帰分析の注意点)

開催日 11月8日(月)

場 所 立教大学池袋キャンパス 8号館 8501 教室

講 師 金澤 悠介(CSI 助教)

参加人数 16名

Cコース

講義内容 主成分分析・因子分析入門(主成分分析、因子分析、各手法の注意点)

開催日 11月22日(月)

場 所 立教大学池袋キャンパス 8号館 8501 教室

講 師 金澤 悠介(CSI 助教)

参加人数 12名

Dコース

講義内容 回帰分析入門(SPSS の簡単な使用方法、単純集計)

開催日 12月7日(火)

場 所 立教大学池袋キャンパス 8号館 8501 教室

講 師 金澤 悠介(CSI 助教)

参加人数 26名

Eコース

講義内容 主成分分析・因子分析入門(単回帰分析、重回帰分析、回帰分析の注意点)

開催日 12月21日(火)

場 所 立教大学池袋キャンパス 8号館 8501 教室

講 師 金澤 悠介(CSI 助教)

参加人数 12名

*BコースとDコース、CコースとEコースは同一内容

●統計分析ソフト SPSS による統計分析(新座キャンパス開催)

Aコース

講義内容 SPSS 初歩の初歩(SPSS の簡単な使用方法、単純集計)

開催日 10月22日(金)

場 所 立教大学新座キャンパス 6号館 631 教室

講 師 金澤 悠介(CSI 助教)

参加人数 11名

Bコース

講義内容 回帰分析入門(単回帰分析、重回帰分析、回帰分析の注意点)

開催日 11月12日(金)

場 所 立教大学新座キャンパス 6号館 631教室

講 師 金澤 悠介(CSI助教)

参加人数 4名

Cコース

講義内容 主成分分析・因子分析入門(主成分分析、因子分析、各手法の注意点)

開催日 11月26日(金)

場 所 立教大学新座キャンパス 6号館 631教室

講 師 金澤 悠介(CSI助教)

参加人数 4名

Dコース

講義内容 回帰分析入門(単回帰分析、重回帰分析、回帰分析の注意点)

開催日 12月3日(金)

場 所 立教大学新座キャンパス 6号館 631教室

講 師 金澤 悠介(CSI助教)

参加人数 5名

Eコース

講義内容 主成分分析・因子分析入門(主成分分析、因子分析、各手法の注意点)

開催日 12月17日(金)

場 所 立教大学新座キャンパス 6号館 631教室

講 師 金澤 悠介(CSI助教)

参加人数 3名

*BコースとDコース、CコースとEコースは同一内容

●CSI統計活用セミナー(池袋・新座キャンパス開催)

テーマ 将来人口を推計する・経済波及効果を測定する

講義内容詳細

- 1.『将来人口推計(POCO)』国や地域の将来人口推計を行い、人口ピラミッドを作成する。
- 2.『すたまる・すたなび』統計の基礎や統計制度、統計分野別の基礎知識や分析事例を学習する。
- 3.立教版『G-Census』(統計GIS)国や地域の地図を作成し、地図上に必要な統計データを表示する。

Aコース

講義内容 将来人口を推計する(POCOの利用)

開催日 10月28日(木)

場 所 立教大学池袋キャンパス 8号館 8404教室

講 師 小野寺 剛(CSI助教)

参加人数 15名

Bコース

講義内容 将来人口を推計する(POCO の利用)
開催日 11月11日(木)
場 所 立教大学新座キャンパス 6号館 N633 教室
講 師 小野寺 剛(CSI 助教)
参加人数 2名

Cコース

講義内容 統計地図を作成する(G-Census の利用)
開催日 11月18日(木)
場 所 立教大学池袋キャンパス 8号館 8404 教室
講 師 小西 純((財)統計情報研究開発センター研究員)
参加人数 14名

Dコース

講義内容 将来人口を推計する Part2(POCO の利用)
開催日 11月25日(木)
場 所 立教大学池袋キャンパス 8号館 8503 教室
講 師 小野寺 剛(CSI 助教)
参加人数 10名

Eコース

講義内容 将来人口を推計する Part2(POCO の利用)
開催日 12月2日(木)
場 所 立教大学新座キャンパス 6号館 N631 教室
講 師 小野寺 剛(CSI 助教)
参加人数 なし(休講)

Fコース

講義内容 公的統計の学習(すたまる・すたなびの利用)
開催日 12月9日(木)
場 所 立教大学新座キャンパス 6号館 N631 教室
講 師 倉田知秋(CSI 学術調査員)
参加人数 なし(休講)

Gコース

講義内容 公的統計の学習(すたまる・すたなびの利用)
開催日 12月16日(木)
場 所 立教大学池袋キャンパス 8号館 8503 教室
講 師 倉田知秋 (CSI 学術調査員)
参加人数 14名

*AコースとBコース、DコースとEコース、FコースとGコースは同一内容。

その他セミナー

●高校生向け統計教育セミナー

講義内容 「統計的思考力:仮説の検証ーデータを活用し、判断するー」

開催日 8月9日(月)

場 所 立教大学池袋キャンパス 8号館 8301 教室

講 師 山口 和範(経営学部教授)

参加者 千葉市立千葉高等学校 の生徒・引率教諭 計 20 名

4) 共催セミナー

◆ 第1回 S1科目講習会ー専門社会調査士取得希望者のための講習会ー

開 催 2010年9月4日(土)～7日(火)

場 所 立教大学池袋キャンパス 11号館 A203 教室・8号館 8301 教室

主 催 (社)社会調査協会 ※当センターは開催協力

講 師 菅野 剛(日本大学)

飯島 賢志(武蔵丘短期大学)

木村 好美(早稲田大学)

山北 輝裕(日本大学)

タイトル

1. 社会調査の意義と役割
2. 社会調査の歴史と論理
3. 社会調査の種類と実例
4. 質的調査の概要
5. 多様な質的調査の方法と実際
6. 質的調査の企画・設計
7. 質問文・選択肢の作り方と調査票の構成
8. 調査の実施方法
9. サンプルングの考え方と理論
10. サンプルングの実際
11. 調査データの整理
12. データクリーニングと単純集計・度数分布
13. 平均・分散・標準偏差
14. 分布の読み方
15. クロス集計の読み方
16. 因果関係と相関関係
17. 調査データやグラフを読み解く方法
18. 調査報告書のまとめ方
19. 全体のまとめ
20. 最終試験

◆ ICPSR 国内利用協議会 統計セミナー2010

開催日 2010年9月13日(月)～16日(木)

場 所 立教大学池袋キャンパス 8号館 3F 8301 教室・8302 教室

主 催 ICPSR 国内利用協議会

共 催 立教大学大学院 社会学研究科

講師・タイトル

基礎コース1 データの構造を明らかにする 元治 恵子(明星大学)

基礎コース2 量的データの分析 村上 あかね(桃山学院大学)

中級コース1 質的データの分析(1)(ロジットモデル) 三輪 哲(東北大学)

中級コース2 質的データの分析(2)(潜在クラス分析) 三輪 哲(東北大学)

中級コース3 調査データからの因果推論と選択バイアスの解決 星野 崇宏(名古屋大学)

参加人数 基礎コース1 22名・基礎コース2 35名

中級コース1 32名・中級コース2 12名・中級コース3 17名

3. 受託事業

図書館閲覧業務従事スタッフの就労満足度調査

受託企業名 日本データベース開発株式会社

受託概要 非正規雇用者の満足とは何か？労働環境・給与・福利厚生等どこに重みづけをすると働く人のモチベーションがあがるのか？を企業として把握し、本格的な分析をCSIに受託。就労満足度調査分析をする事は図書館業界全体の思いになると考える。

調査対象者 立教大学内図書館業務委託就労者(フルタイム・パートタイム合計)

受託内容 調査票の作成 調査票の配布・回収 データの分析 報告書の作成

4. 資格支援事業

「社会調査士」と「専門社会調査士」の2つの資格は、いずれも一般社団法人 社会調査協会が認定するものである。社会調査の知識と技能を有する専門的な人材の育成を目的としている。

いずれの資格も、専門知識や技法を用いて、世論や市場動向、社会事象等をとらえることのできる能力を有する「調査の専門家」であることを想定しており、「社会調査士」は社会調査の基礎能力を有する専門家として、「専門社会調査士」はさらに高度な調査能力を身につけたプロの社会調査士と位置づけられている。当センターでは、立教大学を社会調査協会に、教育組織会員として登録を行った。また当センターの助教が連絡責任者となり、学内の指定科目申請登録のサポートや学生の資格取得支援を行っている。

社会調査士(見込み)資格取得申請 前期申請者 12名・後期申請者 153名 合計 165名

社会調査士 資格取得申請 90名

専門社会調査士 資格取得申請 1名

2010年6月1日 立教大学の連絡責任者を学内で一本化。

2010年7月1日 社会調査協会へ教育組織会員として正式加入

社会調査士(見込み) 申請業務

前期	申請期間	2010年6月1日(火)～6月21日(水)
	提出期間	2010年6月3日(木)～6月23日(水)
後期	申請期間	2010年9月21日(火)～10月12日(火)
	提出期間	2010年9月24日(金)～10月14日(木)

社会調査士・専門社会調査士 申請

申請期間	2011年2月28日(月)～3月22日(火)
提出期間	2011年3月24日(木)～3月31日(木)

5. 教育支援事業

■ 正課科目の開発・提供

2010年度は、全学共通カリキュラムのオンデマンド授業「社会調査入門」・「データ分析入門」・「社会調査の技法」・『データの科学』の運営を行った。なお、これら4科目は、社会調査士資格認定科目となっ
てもいる。また、2011年度開講を目指し、「多変量解析(仮題)」の授業用コンテンツの新規開発を行った。
加えて、2010年度開講科目に関しては、その受講生からのフィードバックを活用し、授業コンテンツの修
正・改善も行った。

2010年6月16日 オンデマンド授業コンテンツ4科目公開開始

『社会調査入門』

担当者: 廣瀬 毅士(CSI 助教)

教育コーチ: 三田 泰雅(CSI 学術調査員)

授業の目標: 社会調査の意義と諸類型に関する基本的事項を理解し、資料やデータの
収集から分析までの諸過程に関する基礎的な事項について概説する。

授業内容:

- 第1講 社会調査の目的
- 第2講 社会調査の諸方法
- 第3講 社会調査の歴史: 欧米
- 第4講 社会調査の歴史: 日本
- 第5講 調査対象の選出方法
- 第6講 量的調査法の種類と特徴
- 第7講 質問紙調査の調査プロセス(1)
- 第8講 質問紙調査の調査プロセス(2)
- 第9講 質問紙調査の調査プロセス(2)
- 第10講 質的調査法の概要と種類
- 第11講 自由面接法の種類と方法
- 第12講 自由面接法の調査プロセス(1)
- 第13講 自由面接法の調査プロセス(2)
- 第14講 観察法・ドキュメント分析の調査プロセス
- 第15講 調査倫理と社会調査の諸問題

『社会調査の技法』

担当者:廣瀬 毅士(CSI 助教)

教育コーチ :三田 泰雅(CSI 学術調査員)

授業の目標

社会調査の技法的な側面に注目し、調査の企画・設計からデータの収集と整理に関する具体的な方法について解説する。

授業内容

- 第1講 社会調査とは何か
- 第2講 社会調査の企画
- 第3講 調査方法を選ぶ
- 第4講 標本設計の方法
- 第5講 標本調査の実際
- 第6講 調査票を作る
- 第7講 質問文の作り方
- 第8講 選択肢の作り方
- 第9講 調査の実施
- 第10講 データの作成と集計・分析
- 第11講 質的調査の概説
- 第12講 フィールドワーク
- 第13講 インタビュー
- 第14講 参与観察
- 第15講 論文・報告書の作成

『データ分析入門』

担当者:金澤 悠介(CSI 助教)

教育コーチ :片山 琴絵(CSI 学術調査員)・倉田 知秋(CSI 学術調査員)

授業の目標

社会調査データの分析の基本的な知識を修得し、データの記述や簡単な二変数の関連を分析し、結果を適切に整理できるようになる。

授業内容

- 第1講 統計を学ぶ
- 第2講 変数の性質とデータ分析の方法
- 第3講 データを記述する(1)
- 第4講 データを記述する(2)
- 第5講 データを記述する(3)
- 第6講 データを記述する(4)
- 第7講 データを記述する(5)
- 第8講 データを記述する(6)
- 第9講 2つの変数の関連を探る(1)
- 第10講 2つの変数の関連を探る(2)
- 第11講 2つの変数の関連を探る(3)
- 第12講 2つの変数の関連を探る(4)
- 第13講 回帰分析の基礎
- 第14講 擬似相関と変数の統制

第15講 時系列データの分析

『データの科学』

担当者:小野寺 剛(CSI 助教)

教育コーチ :倉田 知秋(CSI 学術調査員)

授業の目標

社会について考え、課題を解決する道具として社会調査データ分析を位置づけ、データを用いて推論や仮説を検証するための手法を体得する。

授業内容

- 第1講 記述統計学と推測統計学
- 第2講 標本抽出(1)
- 第3講 確率と確率分布
- 第4講 標本抽出(2)
- 第5講 統計的推定(1)
- 第6講 統計的推定(2)
- 第7講 統計的推定(3)
- 第8講 統計的検定(1)
- 第9講 統計的検定(2)
- 第10講 2つの平均値の差の検定
- 第11講 分散分析
- 第12講 カイ2乗検定
- 第13講 3重クロス表の分析
- 第14講 相関と回帰
- 第15講 因果への挑戦

■ 統計学習コンテンツ

大学教育における統計学習の普及・促進を目的として当センターでは以下のコンテンツを作成した。各コンテンツの詳細については、以下の URL を参照。

<http://csi-stat.rikkyo.ac.jp> (各コンテンツには ID とパスワード入力が必要)

すたまる(公的統計総合学習コンテンツ)

Official Statistics Contents for Multi-user が、この統計コンテンツの名称である。愛称は「すたまる」。政府統計の利用に主眼がある。18講の構成で網羅的に政府統計が学習可能である。

すたまるの構成

◆ 統計一般基礎 ◆

- 第1講 統計の基礎
- 第2講 国内機関が提供する統計
- 第3講 国際機関が提供する統計

◆ 分野別統計 ◆

- 第4講 国土・交通を捉える統計
- 第5講 環境を捉える統計
- 第6講 人口・厚生を捉える統計
- 第7講 国民生活を捉える統計

- 第8講 経済・産業を捉える統計
- 第9講 教育・文化を捉える統計
- 第10講 財政を捉える統計
- 第11講 財務を捉える統計
- 第12講 金融取引を捉える統計
- 第13講 雇用・労働を捉える統計

◆加工統計◆

- 第14講 国際的な取引を捉える統計
- 第15講 社会経済人口指標体系
- 第16講 価格の変動を捉える統計
- 第17講 国民経済を体系的に捉える
- 第18講 開発経済を捉える統計

すたなび(総務省統計局統計学習コンテンツ)

Official Statistics Navigator が、この統計コンテンツの名称である。愛称は「すたなび」。
総務省統計局が実施する統計についての自習用 e-ラーニングコンテンツである。

すたなびの構成

項目名	コンテンツ内容
使い方	すたなびの使い方の解説
統計	総務省統計局が公表する調査統計や加工統計、業務統計のうち、主要な 20 の統計について、概要を紹介したもの(統計カード)。また、12 の統計については、結果の集計事項についてもまとめられている(統計集計カード)。
基礎知識	各統計を利用する上で知っておきたい基礎知識について。
基本問題	12 調査について、選択肢による基本問題が掲載されている。この問題を解くことにより、各統計で把握できることについて学ぶ。
分析事例	国勢調査、住宅・土地統計調査、全国消費実態調査、就業構造基本調査、社会生活基本調査の 5 調査について、分析事例が紹介されている。
匿名データ	新たに開始されたサービスとして、オーダーメイド集計と匿名データの提供のサービスについて紹介し、匿名データ利用に関する実習について学ぶ。
Data Storage Site	分析事例が用意されている 5 統計調査について、詳細な地域や(国勢調査)過去の統計調査結果について収録したもの。

立教版 G-Census

「使ってみよう統計データ(G-Census)」は、国勢調査などの統計データを地図の上で表現できる統計 GIS ソフトである。このソフトを利用することで、統計データが日本全国から市町村レベル、自分の身近な地域を知る上で重要である。

ポコ(将来人口推計コンテンツ)

Future Population Projection Contents が、このコンテンツの名称である。愛称は「ポコ」。
付属のワークとツールを活用して将来人口推計を行い、市町村における年齢別人口推移の予測を行う。

リコ(経済波及効果分析コンテンツ)

Repercussion Effect Analysis Contents が、このコンテンツの名称である。愛称は「リコ」。
付属のワークとツールを活用して経済活動における波及効果を分析する。

6. 研究支援

●調査研究コンサルティング

立教大学の大学院生や教職員を対象に、調査研究に関するコンサルティングを提供している。対応可能な内容は、統計的な社会調査の立案や実施、公的統計データの利活用、統計的分析に関する相談です。2010年度は合計11件のコンサルティングを受け付けた。

●立教大学社会調査データアーカイブ(RUDA)

名称 立教大学社会調査データアーカイブ

Rikkyo University Data Archive (RUDA)

URL <https://ruda.rikkyo.ac.jp/>

公開日 2010年10月1日

利用条件 今年度の利用ユーザ登録は、立教大学内の教員・大学院学生に限る。
立教大学イントラネット内からのアクセスのみを許可する。

立教大学社会調査データアーカイブは、社会調査(統計的調査)データを収集・整備し、研究・教育目的の二次分析のために提供を行う。社会調査(統計的調査)データを、ひろく収集・整理し、長期にわたり保管し、社会調査データを、ひろく研究目的や教育目的の二次分析のために提供する。特徴としては、学術研究の調査データを重点的に収集し、地域調査のデータを充実させていく。また、あらゆる社会科学的な調査データを幅広く扱う。そして社会科学の個人研究者や研究者グループによる学術研究調査データの蓄積にとくに力を入れていく。全国調査だけではなく地域調査データの蓄積の充実を計る。

データ公開の目的 研究目的の二次分析、授業での教育目的とする。

利用条件の詳細 アーカイブ公開時に定める利用規約に準ずる。

●公的統計の二次利用制度

学術研究や高等教育への利用を図るため「匿名データの作成・提供」と「委託による統計の作成」、「オーダーメイド集計」の制度が整備された。独立行政法人統計センターが、「統計データアーカイブ」を運営する。当センターでは公的統計の二次利用制度活用のサポート・相談を行う。

現在利用可能な匿名データは、次の4つの統計である。

「全国消費実態調査(平成元年、6年、11年)」

「社会生活基本調査(平成3年、8年、13年)」

「就業構造基本調査(平成4年、9年、14年)」

「住宅・土地統計調査(平成5年、10年、15年)」

オーダーメイド集計に対応可能な統計調査は、次の3つの統計である。

「国勢調査(平成2年、7年、12年、17年)」

「学校基本調査(平成20年度)」

「賃金構造基本統計調査(平成18年)」

一般利用者の申請窓口は独立行政法人統計センターとなるが、学術研究機関等に所属する者は統計センターの「サテライト機関」に申請するよう規定されている。サテライト機関は、統計センターとの間で連携の協定を交わし、統計センターに代わって申請の窓口となる法人のことで、現在、連携しているサテライト機関は一橋大学、神戸大学、法政大学の3大学である。立教大学でも将来的にはサテライト機関化を検討しており、社会情報教育研究センターを中心として、整備をすすめている。

一橋大学マイクロデータセンターに作業委託を行っている。

使用可能なデータは以下の2種類である。

1. 分析用データ(教育用)
2. 動作確認用データ(練習用)

2010年6月1日 一橋マイクロデータセンターと打ち合わせ。「教育用疑似匿名データ」の作成方法について検討。

2010年8月 一橋大学にて説明会を開催。「匿名データ提供依頼申出書作成説明会」

● 共同政策研究

立教大学コミュニティ福祉学部ならびに埼玉県と共同で、政策研究を一年間行った。

政策研究テーマ 大都市圏郊外における男性退職者が地域の生活者となるプロセスモデルの構築

研究目的

地域での生活を主体的に送ることができない男性退職者が、地域の生活者となる、現実的な「きっかけ」や「仕組み」づくりのために、彼らが地域の生活者となることの意味を量的調査によって実証的に明らかにする。その結果をもとに質的調査を中心に、彼らが地域の生活者となる概念枠組みやプロセスモデルを構築することを目的とする。研究会は、5/15より16回行われた。内容は調査設計、調査票作成、エディティング作業、データクリーニング作業などである。

メンバー

和 秀俊(コミュニティ福祉学部 助教)

西村 昌記(東海大学 教授)

大石 和男(コミュニティ福祉学部 教授)

金澤 悠介(CSI 助教)

遠藤 伸太郎(立教大学大学院 博士前期課程)

三田 泰雅(CSI 学術調査員)

7. 出版物等

● パンフレット

2011年3月3日 6000部作成

● リーフレット

2011年3月3日 6000部作成

● ホームページ

URL: <http://csi.rikkyo.ac.jp/>

- ・2010年6月1日サイト設立
- ・年間更新回数 19回

・主な更新履歴

2010/5/18	統計教育フォーラムに関するお知らせ、2010年5月21日～7月9日にSPSS 初心者向けセミナー開催のお知らせ
2010/6/1	社会調査士申請受付開始のお知らせ
2010/6/24	社会情報教育研究センターラウンジ利用のご案内
2010/7/7	9月13日(月)～16日(木)ICPSR 国内利用協議会・統計セミナー開催のお知らせ、9月4日(土)～7日(火)社会調査協会 S1科目セミナー開催のお知らせ、統計教育フォーラム開催のお知らせ
2010/7/16	「匿名データ提供依頼申出書作成説明会」開催のお知らせ
2010/7/28	社会情報教育研究センター作成コンテンツページを開設
2010/8/9	社会情報教育研究センター主催 第1回 統計教育フォーラムレポート
2010/8/23	高校生向け統計教育セミナー レポート
2010/9/15	社会調査士申込受付開始のお知らせ
2010/9/27	ICPSR 国内利用協議会主催 第5回統計セミナー2010 レポート・社会調査協会主催 第1回 S1科目講習会開催レポート
2010/9/30	公的統計関連新着情報ページ
2010/10/1	社会調査データアーカイブ RUDA 学内公開を開始
2010/10/19	CSI 統計分析セミナー・統計活用セミナー開催のお知らせ
2010/10/28	公的統計関連新着情報ページ
2010/11/12	CSI 統計活用セミナー追加開催のお知らせ
2011/2/10	3月8日(火)CSI 公開講演会情報
2011/2/16	社会調査士申請受付期間(2011年2月28日～3月14日)のお知らせ・公的統計関連新着情報ページ
2011/2/21	政府統計部会出張訪問記
2011/3/28	社会調査士資格申請に関するお知らせ・公的統計関連新着情報ページ

・年間累積アクセス数(2010年6月1日～2011年3月31日)

訪問数	7,815
ユニーク ユーザー数	4,916
ページビュー数	24,345

・アクセストップ5ページ

/	3,793pv	15.58%	(センターTOP ページ)
/social_research/index.html	1,948pv	8.00%	(社会調査士ページ)
/outline/index.html	1,639pv	6.73%	(センター概要ページ)
/seminar/index.html	1,495pv	6.14%	(セミナー・講習会ページ)
/index.html	1,403pv	5.76%	(センターTOP ページ)

8. 人事

嘱任(2010年4月1日)

金澤 悠介 倉田 知秋 三田 泰雅 片山 琴絵

嘱任(2010年6月1日)

石幡 繁子

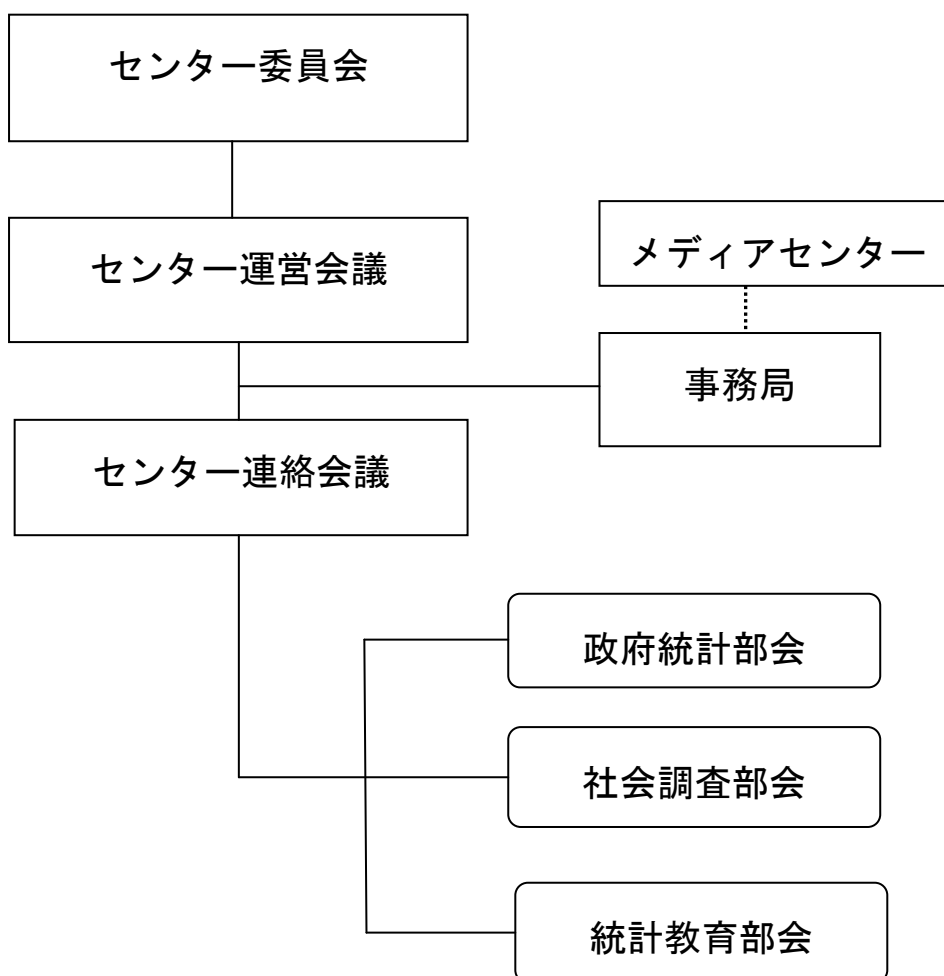
退職(2010年6月30日)

片山 琴絵

嘱任(2010年8月1日)

田中 潮

9. 組織図



10. メンバー一覧および各種委員会

(1) メンバー一覧

センター長	間々田 孝夫(社会学部教授)
政府統計部会リーダー	菊地 進 (経済学部教授)
社会調査部会リーダー	松本 康 (社会学部教授)
統計教育部会リーダー	山口 和範 (経営学部教授)
センター員	岩崎 俊夫 (経済学部教授)
	岩間 暁子 (社会学部教授)
	坂田 周一 (コミュニティ福祉学部教授)
	小野寺 剛 (助教)
	廣瀬 毅士 (助教)
	金澤 悠介 (助教)
学術調査員	倉田 知秋
	三田 泰雅
	田中 潮
事務局	宮内 文隆 (メディアセンター)
	根岸 千佳 (メディアセンター)
	荒井 美智江(助手)
	石幡 繁子 (助手)

(2) センター委員会

間々田 孝夫(社会学部教授)
菊地 進 (経済学部教授)
松本 康 (社会学部教授)
山口 和範 (経営学部教授)
岩崎 俊夫 (経済学部教授)
岩間 暁子 (社会学部教授)
坂田 周一 (コミュニティ福祉学部教授)
東條 吉純 (法学部教授・教務副部長)
日向野 幹也(経営学部教授・メディアセンター長)
宮内 文隆 (メディアセンター)
根岸 千佳 (メディアセンター)
荒井 美智江(助手)
石幡 繁子 (助手)

(3) センター運営会議

間々田 孝夫(社会学部教授)
菊地 進 (経済学部教授)
松本 康 (社会学部教授)
山口 和範 (経営学部教授)
坂田 周一 (コミュニティ福祉学部教授・陪席)
宮内 文隆 (メディアセンター)
根岸 千佳 (メディアセンター)
荒井 美智江(助手)

石幡 繁子 (助手)

(4) センター連絡会議

間々田 孝夫(社会学部教授)
菊地 進 (経済学部教授)
松本 康 (社会学部教授)
山口 和範 (経営学部教授)
岩崎 俊夫 (経済学部教授)
岩間 暁子 (社会学部教授)
坂田 周一 (コミュニティ福祉学部教授)
小野寺 剛 (助教)
廣瀬 毅士 (助教)
金澤 悠介 (助教)
倉田 知秋 (学術調査員)
三田 泰雅 (学術調査員)
田中 潮 (学術調査員)
宮内 文隆 (メディアセンター)
根岸 千佳 (メディアセンター)
荒井 美智江(助手)
石幡 繁子 (助手)

(5) 政府統計部会定例会議

菊地 進 (経済学部教授)
岩崎 俊夫 (経済学部教授)
小野寺 剛 (助教)
倉田 知秋 (学術調査員)
藤野 裕 (経済学部助教)
櫻本 健 (RA)
荒井 美智江(助手)

(6) 社会調査部会定例会議

松本 康 (社会学部教授)
岩間 暁子 (社会学部教授)
廣瀬 毅士 (助教)
三田 泰雅 (学術調査員)

(7) 統計教育部会定例会議

山口 和範 (経営学部教授)
坂田 周一 (コミュニティ福祉学部教授)
金澤 悠介 (助教)
田中 潮 (学術調査員)
横山 暁 (帝京大学経済学部経営学科助教・経営学部兼任講師)
廣瀬 毅士 (助教)

以上